



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL https://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	5,064	4.5	△85	—	△82	—	△86	—
30年2月期第3四半期	4,844	1.7	△162	—	△163	—	△155	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	△33.60	—
30年2月期第3四半期	△60.59	—

(注) 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	12,647	10,174	80.4
30年2月期	12,529	10,292	82.1

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 10,174百万円 30年2月期 10,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年2月期	—	0.00	—		
31年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	4.1	100	105.4	100	99.8	50	119.4	19.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	2,572,871株	30年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	4,347株	30年2月期	4,250株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	2,568,581株	30年2月期3Q	2,568,736株

※ 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等により、企業収益や雇用環境に改善がみられ、緩やかな回復基調が続いてはいるものの、米国の政策動向や中国及び新興国経済の影響により、先行きは不透明な状況で推移しております。

こうした状況のもとで、当社は、会社構造改革をさらに推進させ、粗利益確保に取り組み、既存店の黒字化を目指してまいりました。

まず、多様化する顧客ニーズに対応するため市場の情報収集やセールス担当の増員を行い、新規顧客の開拓や既存顧客の囲い込みを確実に実行し、宴会受注の強化に努めてまいりました。

各店舗においては、ネット媒体への訴求をより強化し、グルメサイトからのインターネット予約の需要を掘り起こし、宴会及びダイニングでの売上増加に努めました。

さらに、ランチメニューの改定を実施し、お昼の商品アイテムを一新いたしました。また、新たな試みとして「ふかひれの火鍋とカラダが潤う食」と題し、葉膳、アンチエイジングをテーマにフェアを実施し、既存のコースとの差別化を図り、ダイニングの活性化を行い、集客力の強化を図りました。

次に、婚礼ブランド「LUCIS(ルーキス)」においては、成約組数が目標達成圏内にあり、引き続き、各媒体への積極的販促や、商品戦略、演出等の向上に取り組んでまいります。

「Coeur et Coeur(クーレクール)」「LA VIE CLAIR(ラ ヴィ クレール)」は、内輪の披露宴や食事会、神前式、海外挙式等を挙げられた新郎新婦の披露宴の受注など、小規模な披露宴等を希望する顧客の取り込みを行ってまいります。

保有不動産の有効活用のため、平成30年9月に千葉県習志野市の賃貸用不動産を売却いたしました。また、安定収益確保のため、平成30年9月に豊島区南長崎の賃貸用不動産、10月に板橋区栄町の賃貸用不動産を取得いたしました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は、前年同四半期比4.5%増の50億6,400万円、営業損失は8,567万円(前年同四半期は営業損失1億6,286万円)、経常損失は8,211万円(前年同四半期は経常損失1億6,348万円)となりました。また、固定資産売却益5,970万円並びに減損損失5,159万円の計上等により、四半期純損失は8,629万円(前年同四半期は四半期純損失1億5,563万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億1,823万円増加いたしました。

これは主に、売上の増加並びに借入金の増加等により現金及び預金が3億4,186万円増加、長期未収入金からの振替により流動資産その他が9億8,787万円増加した結果、流動資産が12億5,903万円増加、固定資産は有形固定資産の償却並びに賃貸不動産の売却、長期未収入金の振替等により11億4,080万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ2億3,566万円増加いたしました。

これは主に、借入金が1億3,910万円の増加並びに買掛金が4,214万円の増加及び流動負債その他の未払金が8,617万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億1,742万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失8,629万円の計上及び期末配当金の支払いによる支出などによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	482,846	824,716
売掛金	397,142	443,595
商品及び製品	6,838	6,489
原材料及び貯蔵品	72,277	78,799
前払費用	63,784	56,979
未収還付法人税等	73,678	-
その他	61,683	1,006,707
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,157,952	2,416,987
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,202,150	4,059,206
土地	3,820,659	3,907,642
その他(純額)	558,435	475,056
有形固定資産合計	8,581,245	8,441,905
無形固定資産	15,559	9,005
投資その他の資産		
投資有価証券	123,423	115,821
差入保証金	1,432,332	1,423,007
長期未収入金	987,873	-
その他	231,763	241,657
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,774,793	1,779,886
固定資産合計	11,371,598	10,230,797
資産合計	12,529,550	12,647,784
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,218	204,362
短期借入金	445,900	408,700
未払法人税等	53,700	31,320
賞与引当金	63,000	15,600
その他	372,408	535,810
流動負債合計	1,097,226	1,195,793
固定負債		
長期借入金	-	176,300
長期未払金	140,194	139,894
繰延税金負債	208,858	201,677
再評価に係る繰延税金負債	129,796	129,796
退職給付引当金	601,391	616,849
その他	59,728	12,546
固定負債合計	1,139,969	1,277,065
負債合計	2,237,196	2,472,858

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	2,553,164	2,441,178
自己株式	△9,725	△9,891
株主資本合計	11,677,218	11,565,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,639	28,363
土地再評価差額金	△1,418,503	△1,418,503
評価・換算差額等合計	△1,384,864	△1,390,140
純資産合計	10,292,354	10,174,926
負債純資産合計	12,529,550	12,647,784

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	4,844,386	5,064,001
売上原価	2,190,545	2,278,716
売上総利益	2,653,841	2,785,285
販売費及び一般管理費	2,816,702	2,870,958
営業損失(△)	△162,861	△85,673
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	2,527	2,311
未回収商品券受入益	1,167	1,235
保険配当金	2,085	1,994
還付加算金	-	2,633
その他	1,929	1,758
営業外収益合計	7,713	9,936
営業外費用		
支払利息	6,156	5,037
その他	2,181	1,340
営業外費用合計	8,337	6,377
経常損失(△)	△163,485	△82,114
特別利益		
固定資産売却益	-	59,707
投資有価証券売却益	12,972	-
特別利益合計	12,972	59,707
特別損失		
固定資産除却損	3,027	2,330
減損損失	-	51,592
特別損失合計	3,027	53,922
税引前四半期純損失(△)	△153,540	△76,329
法人税、住民税及び事業税	6,947	14,825
法人税等調整額	△4,854	△4,854
法人税等合計	2,092	9,970
四半期純損失(△)	△155,632	△86,299

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。